

東レ理科教育賞受賞者代表挨拶

佐野市立西中学校教頭 篠 崎 淳



東レ理科教育賞受賞者を代表しまして御挨拶を申し上げます。この度は、由緒ある東レ理科教育賞を受賞させていただき、大変光栄に存じます。東レ科学振興会の関係者の皆様、審査委員長の豊田真司先生をはじめ、審査委員の先生方に深く感謝申し上げます。

地方の公立中学校では、子どもたちの理科学習へ向かう姿勢は大変幅広く、初歩レベルの生徒から、かなり高度な内容を理解する生徒が机を並べています。そこでは、科学的な知識・技能や科学的な思考力が個々の能力に応じて身につくような授業展開が求められます。このような現状の中で、全ての生徒の要求に応えられるように、日常の些細な現象から先端科学につながる内容までを取り入れた授業展開を試行錯誤して参りました。

「太陽の動きとエネルギーの観測を通じた学習活動の深化」のプログラム作成の研究は、その成果の1つとして、生徒や同僚の教員に対して一定の効果が得られたという実感があります。日時計を手元に置いて太陽を観測したとき、その正確さに驚く生徒や1年間を通じて熱心に観測を行った生徒等に対して、自然現象への関心の高まりや研究に取り組む姿勢・考え方に成長が感じられました。また、特に天体の単元のような応用的な内容において、教える側としても間違えやすい内容の再確認ができました。

これまで、東レ理科教育賞の応募に際し、研究内容のレベルの高さから、なかなか応募する機会が得られませんでした。しかし、本研究のような基本的な内容の取り組みに対して高い評価をいただいたことは、中学校の教員にとっては大変な励みになります。

今後も、意欲的に理科に取り組む生徒が一人でも多くなるように研鑽を続けて参りたいと思います。本日は誠にありがとうございました。